

(第7号様式の2)

事業報告書

(※必要に応じて枠を広げてご記入ください。)

1 事業名	外国人献血啓発事業～献血はいつでもどこでもだれでもできる～
2 事業期間	令和6年6月～令和7年2月
3 事業内容	具体的な内容（いつどこで何を実施したか等） 【献血啓発イベントの開催】 1. 日時：6月14日（金） 会場：県民広場 内容：ネパール献血者協会の活動報告、高校生ボランティアによる献血クイズ、献血啓発の寸劇など 2. 日時：7月16日（火）と17日（水） 会場：那覇市役所1Fロビー 内容：来館者へ献血啓発 協力：Tamang Society 3. 日時：12月9日（火） 会場：パレットくもじ前広場 内容：歳末募金活動、献血啓発 4. 日時：1月30日（木） 会場：ITカレッジ沖縄 内容：学生対象に啓発活動 【献血イベント開催】 1. 日時：7月16日（火）と17日（水） 会場：那覇市役所1Fロビー 内容：140名が献血に協力

3 事業内容	2. 日時：10月23日（水） 会場：くもじ献血ルーム 内容：5名が献血に協力
	3. 日時：2月19日（水） 会場：ITカレッジ沖縄 内容：35名が献血に協力
	【献血サポート】 1. 日時：7月29日、8月28日、9月2日、11月17日、12月9日、1月25日、2月19日 会場：くもじ献血ルーム ・英語問診票を作成し、外国人が献血する際のサポートをおこなう 使用備品：ポロシャツ着用、缶バッジ、英語問診票 日本で初めて献血をする外国人にたいして、問診票の内容や献血の流れについて解説した。 2. 日時：7月16日（火）と17日（水） 場所：那覇市役所1Fロビー 内容：日本で初めて献血をする外国人にたいして、問診票の内容や献血の流れについて解説した。 3. 日時：8月6日 会場：うるま市献血バス ・英語問診票を作成し、外国人が献血する際のサポートをおこなう 日本で初めて献血をする外国人にたいして、問診票の内容や献血の流れについて解説した。 【パンフレットを使った広報活動】 出来上がったNBDAJのパンフレットをくもじ献血ルーム、若狭公民館、那覇市社会福祉協議会、ITカレッジ沖縄、専門学校外語ビジネス学院、日本文化経済学院、JOCA、JICA 沖縄、NGO センター沖縄、西梅田献血ルーム（県外）、などに設置。

	今回の助成金を活用し、パンフレット 3000 部、チラシ 500 枚、横断幕 2 枚、のぼり 5 本、ユニホーム 100 枚、ホームページ作成して上記イベント等で活用した。 ・実施場所または対象地域 那覇市 ・対象者 那覇市在住・在勤・通学の者、興味のある者 ・取組内容 献血イベントの開催 献血啓発運動 3 協働する相手とその内容 日本赤十字：イベント・啓発運動の開催 若狭公民館：イベント開催のサポート、広報周知支援 那覇市社会福祉協議会：イベントの広報周知支援、ボランティア募集 NGO センター：イベント開催のサポート 4 事業の対象者への周知方法 広報なはでの記事掲載、SNS の活用、チラシ配布			
4 達成目標と達成度	達成目標（事業計画書と連携させる）	目標数値	実績値	達成度 (%)
	献血啓発イベント開催	1 回	4 回	100
	献血イベント開催	3 回	3 回	100
	献血サポート	6 回	9 回	100
	ホームページ作成・運用	1 件	1 件	100
	パンフレットを使った広報活動	設置 30 ヶ所	13 ヶ所	40
	外国人献血者数	200 名	250 人	100

	結果に至る理由、気づき、検証等 ・献血イベントの開催にあたり、SNSを活用して来場を呼びかけることで、献血に興味のある方々が参加してくれると考えていました。しかし、実際には参加予定者が当日必ずしも来場するわけではなく、SNSでの呼びかけだけでは参加者の確定に限界があることがわかりました。この経験から、イベントの参加者を確実に集めるためには、他のアプローチも必要であると認識しました。 ・活動報告会を屋外で実施した主な理由は、より多くの方々に活動内容を知ってもらいたいという思いからでした。その結果、日本人のみならず外国人の方々も足を止め、興味を示してくれる場面が多く見受けられました。この反応から、屋外での開催が効果的であり、多くの人々にリーチできたと感じています。 ・街頭イベントでは、次回の移動献血車の予定を伝えることで、献血への参加ハードルを下げる効果を期待しました。実際に多くの方々がその場で献血に参加してくれたことから、このアプローチが有効であったと実感しています。 ・日本赤十字社が献血受付で使用しているタブレットが日本語のみ対応している理由について調査したところ、これまで日本では日本語を理解できない方からの献血受付を行っていなかったことがわかりました。日本国内では主に日本人が献血をしてきたため、このような対応となっていたと推測されます。しかし、今後は日本に住む外国人の数が増加することを踏まえ、多言語対応の必要性が高まると感じています。
--	---

5 事業の成果	事業を実施したことで得られた結果 ・対象者に及ぼした影響 -Increased the new blood donors. (新規の献血者が増加した。) -Information about our organization and activities reached to the many people because of our pamphlet and website. (パンフレットとウェブサイトのおかげで、当団体とその活動に関する譲歩を多くの人に届けることができている。) -Due the banner flag at the event, many people was attracted towards the event and visited us at the event site. (横断幕を掲示することにより、イベントの集客効果が上がり大勢の方がイベント会場に足を運んでくれている。) -Due to the Blood donation Questioning Document in English most of the new donors was able to understand easily and quickly which saved the times of the donors. (英語の問診票のおかげで、新規の献血者が献血の流れや注意事項などを理解でき、スムーズな献血に繋がっている。) ・連携機関、協力者に及ぼした影響 Most of the organization participated in the event and who helped us was influenced and told us that we are also going to coordinate the blood donation event and most of them did that. Organization outside the Okinawa was influenced by us and conducted the Blood donation event in Tokyo, Nagoya and Osaka which increased the number of new blood donors. They started conducting blood donation events in once in the year. Most of the organization felt that they need to write or have the English translated documents in there organization which will be helpful to the foreigners. (イベントに参加した関係機関のほとんどが、外国人にとって非常に役立つ英訳された文書を組織内で製作する必要性について言及しており、また、献血イベントの重要性を認識しイベントへの取り組みについて前向きに検討したいとのことであった。私たちの活動から少なからず影響を受けた様子が見られた。沖縄県内にとどまらず、県外の団体も定期的な献血イベントを実施するようになっている。)
----------------	---

	・地域、コミュニティに及ぼした影響 -People from other countries participated in the event and was willing to donate blood because we support them in the English translation during the blood donation. (通訳ボランティアを行うことで、外国人にとっても不安なく喜んで献血活動に参加してくれている。) -Most of the Japanese and foreigners along with the Nepalese living in Japan knew about our organization and activities because of the website, pamphlet and other information in SNS in English and They were encouraged to donate blood. (日本人および多くの在留ネパール人と外国人が英語と日本語で表現したウェブサイトとパンフレット、SNS その他の情報を通じて私たちの活動を理解してくれた為、献血への啓発を行いやすくなった。)
6 次年度以降 の展開	(ビジョンを見据えたうえで次年度以降に予定している展開) ・期待する対象者の変化 これまでは日本語のパンフレットのみが配布されていましたが、次年度以降は外国語対応のパンフレットや案内を用意することで、外国人も安心して献血に参加できる環境を整える予定です。これにより、より多くの人々が献血活動に参加しやすくなると考えています。 ・連携機関、協力者に及ぼしたい影響 今後、那覇市全体で国籍に関係なく人々が協力し合う重要性をさらに深く理解し、その大切さを分かち合えるようになることを目指します。特に、地域の行政機関や団体との連携を強化し、文化や言語の壁を越えて支え合える体制を構築していきます。 ・地域、コミュニティに及ぼしたい影響 困難な状況に直面したとき、日本人でも外国人でも互いに助け合い支え合うことができるという精神を地域社会全体で共有したいと考えています。これにより、地域コミュニティの絆が強まり、多様なバックグラウンドを持つ人々が共に支え合う社会の実現に貢献できると期待しています。

7 実施した事業 全体への自己 評価とその理 由	①自己評価(5段階評価) 当てはまるところに○をつけてください。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>と と も 良 か っ た 5</th> <th>良 か っ た 4</th> <th>ま あ ま あ 良 か っ た 3</th> <th>少 し 良 か っ た 2</th> <th>全 く 良 く な か っ た 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 課題設定は良かったか</td> <td>☒</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 解決策として良い手法だったか</td> <td>☒</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 自団体の実施体制は良かったか</td> <td>☒</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 他団体との協働体制は良かったか</td> <td>☒</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 対象者への周知は良かったか</td> <td></td> <td>☒</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ②上記の結果となった理由について 日本語が難しかったため、献血を躊躇っていた層に対し、効果的なアプローチができたこと、他団体に対しても言語の壁を下げることで課題解決に繋がることを示せた為。 参加予定だった方々が当日の参加が困難になった理由としては、体調不良なども含まれることから、周知方法だけに原因があったとは考えにくい。 当日参加できなかったとしても、献血に対する意識が向上したことは効果があったとは考える。		と と も 良 か っ た 5	良 か っ た 4	ま あ ま あ 良 か っ た 3	少 し 良 か っ た 2	全 く 良 く な か っ た 1	1 課題設定は良かったか	☒					2 解決策として良い手法だったか	☒					3 自団体の実施体制は良かったか	☒					4 他団体との協働体制は良かったか	☒					5 対象者への周知は良かったか		☒			
	と と も 良 か っ た 5	良 か っ た 4	ま あ ま あ 良 か っ た 3	少 し 良 か っ た 2	全 く 良 く な か っ た 1																																
1 課題設定は良かったか	☒																																				
2 解決策として良い手法だったか	☒																																				
3 自団体の実施体制は良かったか	☒																																				
4 他団体との協働体制は良かったか	☒																																				
5 対象者への周知は良かったか		☒																																			
8 市への要望・ 欲しい支援等	なは市民活動支援事業に係る下記の項目に対して (①事業説明会 ②個別相談 ③募集期間 ④広報支援 ⑤オープンデータ等) 上記は特に問題は感じなかったが、私達外国人にも理解しやすい英語の説明資料や報告書の様式があれば大変ありがたいと思います。																																				